

元気モーリモリ!!!

森山浩行 総支部長の活動報告

今後の予定

元気モーリモリ!!! 座談会

2月27日(木) 17時~
森山事務所(堺区)

3月30日(日) 10時~
堺市産業振興センター(北区)

政治資金パーティー

3月10日(月)
東京・星陵会館/永田町

※詳しくは森山事務所まで
お問い合わせください。

1月は各種団体の新年会・賀詞交歓会をはじめ、はしご。多くの現場からの意見や要請をいただく場となりました。10日には東京で、25日には堺(ゲスト・枝野幸男元官房長官)で森山を「育てる会」の新年会。当落にかかわらず、皆様には変わらぬご支援を頂いています。

元気モーリモリ!!! 早朝配布活動

森山総支部長の政治活動として1998年秋よりスタートし、16年目に入った平日朝(コアタイム7時~8時半)の「早朝配布」。16区内で1か月(17駅)が2か月(40出入口)を順番に巡る形で「同じ場所で毎回違う報告書を配布する」ことを基本に活動を継続。これまで月一回だった「総支部一斉早朝配布」も、今年は大毛幹事長を筆頭に随時開催してゆく予定。

1月早朝配布報告

1月 6日(月) 七道	15日(水) 百舌鳥	24日(金) 北花田
7日(火) 北野田	16日(木) 萩原天神	27日(月) 初芝
8日(水) 三国ヶ丘	17日(金) 堺市	29日(水) 白鷺
9日(木) 新金岡	20日(月) 浅香	30日(木) 湊
10日(金) 堺	22日(水) 浅香山	31日(金) 百舌鳥八幡
14日(火) 堺東	23日(木) 中百舌鳥	

お手伝い募集中! ※2月~3月は「40出入口」巡回予定。日程は随時確定してまいりますので事務所までお問い合わせください。

お問い合わせは 森山浩行事務所 まで
TEL. 072-233-8188

Twitter @MORIYAMAhiro
facebook http://www.facebook.com/genki.mOrimOri

活動へのご協力をお願い

FAX返信: 072-233-8185

お名前 (フリガナ)	お誕生日	年 月 日
ご住所 (〒 -)	Eメール	年齢 () 才
[小学校区]	TEL/FAX	

※個人情報保護の観点より、ハガキではなくFAX通信用紙の形式でお届けさせていただいています。ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

クリーンな政治を目指している民主党大阪府第16区総支部では、一緒に活動して下さるボランティアを募集しています。ご協力項目に○をお願いします。

1. 駅頭早朝配布	平日の朝(7:00~8:30)、16区内の駅を順番にまわっています。終日参加も大歓迎。
2. プレス民主配布	ご友人やご近所に配ってください。10部からでも結構です。
3. ポスター掲示	ご自宅や事務所・駐車場に、森山のポスターを貼らせてください。
4. 座談会主催	各地で座談会を開催しています。会館やご自宅など4~5人でも!
5. 事務所の事務作業	どなたでも出来る簡単な作業です。
6. ご寄付	活動は皆様からのご寄付が頼りです。クリーンな活動維持にご協力下さい。

森山へメッセージ



元気モーリモリ!!! 通信



早春号

平成26(2014)年2・3月号

もり やま ひろ ゆき 森山 浩行

前 衆議院議員

◀ 堺市【堺区・北区・東区】 ▶

プロフィールご紹介

- 堺生まれ、堺育ちの42歳
- 妻・長男・次男と向陵西町在住
- 昭和46(1971)年4月8日 金岡病院(北区)で生まれる
- 堺市立新金岡小学校(北区)入学 錦西小学校(堺区)卒
- 堺市立月州中学校(堺区)卒<水泳部>
- 大阪府立三国丘高校卒<柔道部・生徒会>
- 明治大学法学部卒<雄弁部>
※学生時代よりカンボジア・旧ユーゴスラビア・ロシア・阪神大震災などでボランティア活動
- 元 関西テレビ放送(営業企画部・報道部記者)
- 元 堺市議会議員(1期1999~2003)
- 元 大阪府議会議員(1期2003~2005)
- 前 衆議院議員(2009~2012)
- 工場研修(東区)
- 羽衣国際大学 元客員助教授
- 芦屋大学客員准教授

事務所

〒590-0077 堺市堺区中瓦町1-4-25 熊田ビル3階
TEL.072-233-8188 FAX.072-233-8185
Mail. office@h-moriyama.jp

twitter @MORIYAMAhiro
f genki.mOrimOri



子どもたちの笑顔と未来のために

元気モーリモリ!!! 戦略

人口減少社会における繁栄の条件・徹底した地域主権型社会へ

明治維新以来の「人口増加」を前提とし、欧米列強に追いつけ、追い越せの高度経済成長を目指してきた中央集権体制は、08年をピークに毎年数十万人規模で減少する「人口減少」局面に突入。我が国が目指してきた欧米列強にとっくに肩を並べ、安定成長期に入っている現状において行政のムダが多く、決定のスピードが遅いといった問題点が大きく指摘されています。

江戸時代は300藩と天領・寺社領などそれぞれが地域主権型で領地を運営し、日本史上もっとも各地で郷土文化が花開いていました。雪国で阪神大震災の時の仮設住宅では強度が全く足りなかった東北や新潟での最近の事例をもち出すまでもなく国が都道府県を通じて市町村を監督する中央集権体制からの脱却で重しを取り除くことが大事とわかります。安定成長期には、「お互いの顔が見える」ところで、身近な問題に多くの人がかかわって解決していく「地域愛」にもとづいた地域主権にむけた方向に本格的な転換が必要です。

堺・関西では...

昨秋は、いわゆる「大阪都構想」への賛否を賭けた堺市長選挙で現職・竹山市長が圧勝。市民は政令指定都市としての発展の道を選択しました。昔から独自の発展を遂げてきた堺の市民として「堺らしさ」は何なのか、どう発信するのか、まちづくりの方向性について今回、次ページで森山案を提案しますが、選択した責任としても、堺市民各界各層こそで提案をしていくべきです。

また、日本で最も歴史や文化の蓄積のある関西地方には大阪や京都や神戸といった政令指定都市の他にも和歌山・奈良・大津などの県都を含め多くの個性的な都市があります。各都市への徹底した権限配分とともに、都市内ではできない大規模な戦略については広域化を目指すべき。森山は府議の経験から、経済(通勤圏や物流ネット)・交通(空港問題や幹線道路計画)・自然や地形(琵琶湖淀川水系の管理)などの観点から大阪府では狭すぎると思うため、「関西」全体で立案すべきと考えます。

民主党大阪府 第16区総支部

前 衆議院議員 森山 浩行

堺市議会議員 大毛 十一郎

◆堺市議会では、会派「ソレイユ堺」として活動しています。



子どもたちの笑顔と未来のために 元気モリモリ!!! 計画



経済 クール・ジャパン戦略「人口減少社会」における豊かさの追求

衣食住、ひととおりの生活物資は、現在「100円ショップ」に象徴される安価な大量生産で大きな市場を形成しています。かつての日本もそのプレーヤーでしたが、ここは人件費の安い途上国が入り替わり立ち替わり市場を席巻しています。

先進国・日本が重心を置くべきはここではありません。クールジャパン戦略とはたくさんの分野で「日本カッコ

イイ!」「日本みたいになりたい!」「日本のモノが欲しい!」といわれるブランドを確立し、少量多品種を重心に勝負していこう!という戦略です。

◆ここで勝負すべき、という理由は・・・

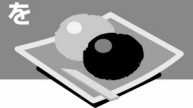
1) 1000万人規模の大量の移民を入れて人口を維持する方法もありますが、日本人を中心とした「人口減少社会」を前提に運営を考えます。

2) 大量消費を前提とした大量生産体制を維持する方法もありますが、発展著しい途上国との人件費切り下げ競争で私たちの子どもたちの給与を10分の1にしてしまうような競争に参加するべきではないと考えます。

そこでモノも、サービスも、企画も、「少量多品種」や「オーダーメイド」にこそ、重心を移していくべきなのです。



「和食」が世界遺産に指定されました。これに関連する刃物や和菓子、また線香といった伝統産業、自転車や各種機械部品などの工場、そこで培われてきた感性や技術ひとつひとつをブランド化。「これだけは、負けない」を徹底応援することが、第一歩。



教育 地域で教育する環境づくり

「寺子屋」式教育の復活。

江戸時代、地域の大人が出入りする寺院で「読み書き算盤」を教える場だった「寺子屋(※当時日本人の識字率は世界最高だった、とも)」を、明治維新で「公立小学校」に移しました。「大人は先生だけ」という環境で教科書を暗記し、正確に再現することで成績をつける義務教育制度が発足。これは戦前も戦後も、「人口増加、大量生産」時代には大きな成果を挙げてきました。

ところが少量多品種やオーダーメイドを基本とすると「正確に再現」では不十分で、相手とのコミュニケーションや幅広い教養などが問われる場面が増えてきます。たくさんの大人が出入りし、議論や葛藤を体験する「寺子屋」式の復活が求められます。

また、「教育はサービスである」という、親の誤った認識が東京での「学区区自由化」などに結実し、より良い教育を求めて何にでもクレームをつけるモンスターペアレントが出現。しかも誰も止めることが出来ない体たらく。こういった問題も「教育は、学校含めて地域ではぐくむもの」という意識の、多くの大人の目があれば、解決に向かいます。

具体的には、第二次ベビーブーム時に増設した学校の空き教室を老人ホームや保育所、幼稚園、自治会館、まつりの実行委員会、趣味のサークル活動などにどんどん解放し、学校を多機能化することで大人の目のある教育環境をつくること。核家族が主流となっている都市部では特に必要です。



堺では 耐震化率60%→100%など、ハード面は竹山市政で改善。「学校が多機能化」については、機能変更による文部科学省への補助金返還義務はなくなったので、ぜひ実現を。よいモデルを発信して、公教育の立て直しへ。

外交

欧米偏重をのりこえて。

外交というと「どんな方針で交渉するか」がメインであり、国民の生命や財産、領土・領海を守り、経済権益を確保するなど、その場の判断や決断が重要であることはいうまでもありませんが、それ以前の「情報収集の厚み」をしっかりとすることこそ、現在の日本に必要と考えます。

「欧米列強に追いつけ、追い越せ」でやってきた150年間、日本の海外人脈はどうしても欧米中心でした。

一部中国や東南アジアなど、近隣諸国には一定の人脈があるものの、途上国で事故が起こったときの取材先の少なさを見ても、それ以外の国々はまだまだ貧弱です。

大学生の留学志望者が減っていると報じられていますが、多少語学が出来ることよりもむしろ「日本の歴史や文化を学んだ」中高生の国費交換留学制度を充実すること。「海外に同級生がいる」「海外からの留学生とクラスメートだった」そんな若い時からの人脈を戦略的に構築すべきです。

世界、200カ国。国費で毎年5人づつ派遣しても、毎年1000人を交換できます。しっかり推進を。



堺では モデル校を設置して、毎年交換留学を。

まちづくり 市民参画型のまちづくり

インフラ更新も踏まえて。

「住民の意見を聞くのは、計画が固まってから」「専門知識の必要な水道事業は、専門家の意見だけで」というのは行政にありがちな態度です。しかし、人口増加を前提としてどんどん都市を拡大していく時代は終わりました。

上下水道や道路や橋といった都市のインフラ(社会資本)も、都市部では一気に更新時期を迎えるものがあります。

生活関連や観光関連、まつりだけのまちづくりへの参画に留まらず、「どこまでのインフラを更新するのか」といった「やめる」決断も含め、行政は情報を公開・共有して市民の参画をうけた再開発計画をたてる体質改善を。



堺では 都市ブランド。玄関口の堺東のにぎわい。観光拠点施設の利用法。救急病院の配置。上下水道の更新。東西交通の在り方。「堺こうあるべき」へ、多くの市民の参画を。行政側の提案のタイミングも早めに。

エネルギー政策

中長期のビジョンにむけて。

「2030年代原発ゼロ、そのためにあらゆる政策・資源を集中する」

東日本大震災以降、社会や経済への悪影響を最小限にするソフトランディングを目指して中長期のビジョンとして我々が策定した方針が現政権によって「原発を基幹エネルギー」と変更へ。

1) 世界の叡智を集めても終息していない現在の福島第一原発の現状

2) 地震大国・日本における原発本体の耐震化の問題。

3) 最終処分場の未定
という状況が変わらないまま「なし崩し」に基幹エネルギーに復活させ、他の方式の開発を緩めると次回事故が起きた時、いきなり全てをストップしなければならないハードランディングの危険性があり、この方針転換には大変危機感もっています。

火力のための化石燃料の価格交渉、蓄電池の大容量化などを急ぎつつ、今後20年、工夫を積み上げる努力を放棄することのないようにすべきです。

また、「わからない」ことで怪情報が飛び交います。これまで公表されてこなかった情報も公開の上、事業者も消費者も覚悟を決めた上で、政府の決定へ。



堺では 「エネルギーの地産地消」という堺市の方針のもと、設置規制を緩和した小水力発電や太陽光などの自然エネルギーと蓄電池の大容量化に合わせて都市内でのエネルギー需要を把握。一步一步、実現へ。

